

普段気をつけなければならないこと

心疾患のお子さんにとってもっとも注意することは、感染性の病気を防ぐことです。感染性の病気にもなう発熱は心臓に負担をかけますし、食事・水分のとりかたが普段と変わるため体のバランスがくずれがちになります。手洗い・うがいをこまめにすることで感染予防となります。お子さん本人だけでなく周りで接する人も同じように手洗い・うがいを行うことも大切です。体育の授業の後や食事前には手洗い・うがいをするようにしましょう。インフルエンザなどの流行期にはマスクをさせることも重要です。

また、心疾患のお子さんにとっては、口腔内の清潔を保つことも大切になります。虫歯などがあると口の中からばい菌が身体に入って、感染性心内膜炎という病気を引き起こすことがあるからです。歯科検診で虫歯を指摘されたら、早めに治療をするように働きかけてください。また日頃から歯磨きやうがいなどを習慣にしていきましょう。

予防接種は基本的にはふつうに接種できますが、予防接種の時期はご家族・担当医と相談して接種するようにしましょう。



